

## 今月のことば

仏教は  
役に立つの？  
いいえ  
大切なのです

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師  
小池秀章 こいけひであき

「宗教の勉強をして、何の役に立つのですか？」

これは、私が宗門校（中学・高校）の宗教科（仏教・真宗を学ぶ科目）の教師をしていた時、たびたび生徒から受けた質問です。なぜそのような質問が出るのかと言えば、公立の学校なら宗教の授業はないのに、自分たちだけ宗教の勉強をしなければならず、負担になる（試験もあり成績もつく）ので、役に立ちそうもないものを、学びたくないと思っているからです。そんな時、私は、

「宗教は、役に立つから学ぶものではありません。宗教は、大切なのです！」

と答えていました。生徒は、宗教（仏教・真宗）を学ぶにしたがって、その意味を徐々に理解してくれたように思います。

仏教とは、文字通り、「仏の教え」です。仏とは、真実に目覚めた者という意味ですから、仏教とは、真実に目覚めた者の教えだと言えます。そして、その教えを聞いた者も真実に目覚めるので、「仏に成る教え」だとも言えます。

私たちは、真実を見ているか（ありのままに見ているか）というと、常に自己中心にしか見ていないのです。自分にとって都合がいいか悪いか、役に立つか立たないか、というような視点で見えています。仏さまの教えを聞くと、そんな自分に気づかされます。

仏さまの教えを聞いて、大切なことを見失わないようにしたいものです。

合掌